



謹賀新年

二〇一六年の新春を迎えるにあたり、

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年はすこやか福祉会にとって踏ん張りの年でした。法人の経営再建と介護報酬の改定により先が見えない状況の中で全職員の奮闘と、協議会の職員の皆様、すこやか福祉会を支援する会の会員の皆様のご支援を頂き大幅な経営改善が実現できました。まだ安定的な資金確保には至っていませんし、介護人材確保の困難に直面していますが、引き続き皆様のご支援を頂き経営改善の前進と地域から望まれる活動を実践していくよう努力していく所存です。

いくつかの地域で「介護予防・日常生活支援総合事業」が始まりました。出来る限り住みなれた地域で在宅を基本とした生活が継続できるように支援することを目的としています。地域住民と協力し合い、助け合い支えていくこと、その様な地域を作っていくことは賛同します。しかし、要支援の人を介護保険から切り離すことが必要だったのでしょか。また、施設・在宅の生活にも自己決定、尊厳が存在するのだろうか？と考えるをえません。介護保険に振り回されている昨今、今私たちは何をすべきかもう一度考える年にしたと思います。以前、私達は二四時間、三六五日常生活を支えていくため二四時間訪問看護・介護を始めました。施設では日曜日のデイサービスを開始、年末年始一人で過す人がいる大晦日も元旦もデイサービスを開始しました。本当の二四時間、三六五日サービスです。今、足立区の子供地域で行っている生き生きサロンに通われる人のうち八割が独居だと話を聞きました。中には、一人で年末年始を過される方もいると思います。介護保険にとられず、安心して暮らしていくためのサービスを提供できる、地域から必要とされる法人として今年も努力していきたいと思っています。

昨年、全国の人々の反対の声をまったく聞いてくれず強行採決された戦争法。国民が安心して暮らして続けるためには平和でなければなりません。私たちは、引き続き戦争をしない国、平和の国のために運動していく所存です。法人、職員一同努力してまいります。今後とも引き続きお力添えを賜りますようお願い致します。新しい年が幸多き実りある年となりますよう心からお祈り申し上げます。

社会福祉法人 すこやか福祉会

理事長 中山 美千代

ファミリーケアとの法人合併を終えて

三郷エリア専従事務局 榎順治

新年あけましておめでとうございます。

今回、法人合同の申請手続きの主担当をさせていただきました。2ヶ月半に渡る、膨大な書類に埋もれる日々。なんとか新年を迎えることができ、今はほっとしています。

2000 年 4 月 1 日の介護保険施行時に(株)ファミリーケアに入職したこともあり、今回の法人合同は、当時開設を手がけた事業所を廃止しすこやか福祉会として新たに新規申請するという、寂しさと今後の期待を兼ねる複雑な心境のもとでの作業でした。また、ファミリーケアには 20 代での入職だったので、社会人としての基礎も教えて頂き、たくさんの思い出もありました。

<介護スタッフにいつも感謝>

地域専従事務局は、
実務的なく形ある業務>
もたくさんありますが、
担当する事業所に近い
事務局として、事業所
の円滑運営の
為のフォローや、



左：榎課長（デイサービス采女の里吉井所長と）

地域関連院所との調整等<形のない業務>もこなさなくてはならずとても忙しい日々です。医療や介護の社会保障の情勢は今後さらに厳しさが加速してまいります。介護の崩壊は、地域の崩壊を招きます。私たちが介護事業を存続していくことは大事な使命です。

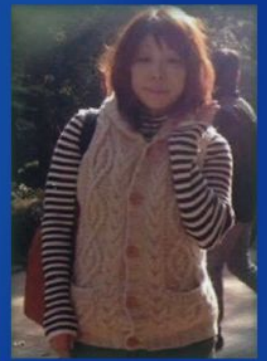
私の<形のない業務>の大きな柱は「介護スタッフにいつも感謝」です。介護はマンパワーの仕事です。募集をしても応募が厳しい現実もあり、今いる介護スタッフがやりがいを持って、1 日でも長く働ける環境づくりを常に心がけています。1 年中、事業所のスタッフと苦楽を共感しながらみんなを励ましています。介護スタッフが元気になれば「活力と躍動感」が事業所に生まれ、介護サービスの質を高めていきます。この志を持ち続け、すこやか福祉会でもがんばろうと思います。今年も 1 年、ご利用者、支えるご家族、介護スタッフの皆さまに素晴らしい 1 年が訪れますように。

「株式会社ファミリーケアありがとう。」

所長の
ココロ

25

ファミリーケア大島
野澤 智恵子



ファミリーケア大島の管理を任され満 5 ヶ月。
新人所長の野澤です。

「雨にも負けず風にも負けず」のフレーズで有名な宮沢賢治の詩。小学三年生でしたが、幼いながらに「こんな者に私もなりたい」と、思いました。アメリカの詩人サム・レヴェンソンの詩。

「人は自分にふたつの手があることに気づきます。ひとつは自分自身を助けるため、そして、もうひとつは他者を助けるため。」一部抜粋の詩ですが、中学生の時、この詩に心強く動かされ、困っている人には手を差し伸べたいと思いました。

自分が動けるうちは、何か人のお役に立ちたいなと思っていたので、今、介護の仕事を通して、介助を必要としている方々に手を差し伸べてあげることができている事に感謝。一人でも多くの方が、一時でもいいから心地よく過ごせてもらえたらいいなと思っています。

スタッフをはじめ、御利用者やその御家族、地域の方々等、沢山のひととの触れ合いが多い分、沢山気付かされる事があり、沢山学ばせてもらっている現状が好きです。触れ合いが多いと、思想が異なる場面にも出会います。他者の思いを知り、自分自身に新たな発想が植え付けられ、自分磨きに繋がっている事に有難みを感じます。所長になって改めて皆様を支えられて今がある事を強く感じます。

働きやすい環境作り、個性を尊重しながらも良質のケアができるよう、これからも支え支えあつて努めていきたいと思っています。



金町学童保育クラブ



デイサービスで遊びの披露

11月27日に、近くにあるデイサービスセンターかなまちに行きました。技見せにちょっとドキドキが高まっている子ども達を、おじいちゃん達があたたかく迎えて下さいました。

披露するのは、けん玉・あやとり・コマ・一輪車・歌の5つです。けん玉は「もしもし亀よ〜♪」の歌に合わせて玉を中皿と大皿に連続して交互に乗せる技

(通称もしかめ)を行いました。けん玉の早い動きとあやとりの指さばきに「うまいね〜」と言ってもらえて、ホッとしたようすの子ども達。コマでは、空中手のせなどの技に「もう1回やってほしい」との声が上がり、もう一度披露しました。

続く一輪車は、お気に入りのかわいい衣装を着て、トトロの音楽に合わせて、手つなぎで回るなど大技を見せました。

ここでも「上手だね〜」と手拍子で応援してもらいとても嬉しそうな子ども達。



最後は、にじの歌をみんなで歌い、元気な歌声に、おじいちゃんおばあちゃんも体を揺らしながら、聞いてくださり、おみやげに折り紙の手裏剣もたくさん頂きました。喜んでもらえて大満足の子ども達。

楽しい交流の時間が持てました。「デイサービスの前を通るとおじいちゃん、おばあちゃんを思い出すんだよ」「また、出し物を見せに行きたいなあ」と口々に言っている子どもたち。これからもどうぞ宜しくお願い致します。

金町学童保育クラブ 施設長 近藤 永都子

すこやか福祉会を支援する会主催 すこやか作品展 投票結果発表！

昨年もすこやか福祉会を支援する会主催の「すこやか作品展」が開催されました。一昨年までは「すこやか文化祭」という名称で行っていましたが、昨年は「すこやか作品展」と名称を変え、11月3日～5日まで葛飾やすらぎの郷にて作品を展示しました。

今回の作品の応募総数は、28作品とすこやか福祉会の各事業所、利用者さん、ボランティアさんと様々な方に応募いただきました。3日間で151人の投票があり、その投票により最優秀賞、優秀賞が決定しました。

最優秀賞はデイサービスセンターなごみ

「獅子舞」



表彰状を受け取る落合所長



優秀賞は葛飾やすらぎの郷、新宿在宅サービスセンターの「戦争体験を語り、記録する」と葛飾やすらぎの郷野島光三郎さんの「105歳の色紙」でした。

今回はやすらぎの郷の近隣の事業所の皆さんが毎日のようにいらっしゃったのでとてもにぎやかな作品展となりました。利用者さんの外出行事にもなり、有意義な日々になったのではないのでしょうか。一昨年と比べ、作品のクオリティーも高く、実際に作品を見た皆さんは驚いていました。今回応募していただいた皆さんありがとうございました。今年の作品展にもたくさんのご応募お待ちしております。

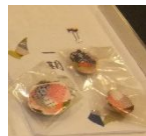


優秀賞

上：葛飾やすらぎの郷 野島光三郎様 「105歳の色紙」

右：葛飾やすらぎの郷・新宿在宅サービスセンター

「戦争体験を語り、記録する」



展示作品紹介





加藤 あき子様 101歳
ファミリーケア柳原



柳下 甚作様 100歳
複合型サービスすこやかの家業平

ご長寿

おめでとうございます

すこやか福祉会を利用されている
100歳以上の利用者様7名を
ご紹介させていただきます。

※年齢は2016年1月1日現在です



尾崎 キク様 100歳

(※2016年1月3日で100歳です)

小規模多機能サービス葛西みなみ



今井 八千代様 101歳
デイサービスセンターみたて



山本 ヨシ様 102歳

かばらデイサービスセンター



福屋 正様 103歳
デイサービスよりみち

- ① 栃木県 佐野市
- ② 洋裁の仕事を頑張ったこと
(セーラー服を縫った)
仕事中心の人生で我慢強く
生きてきたそうです。
- ③ ・箱折(チラシで紙のゴミ箱
を作っています。)量が多
く、毎日事業所で活用させ
ていただいています。
・詩吟。昔からの趣味で習っ
ていた。今でも本を持参し
ていて、ご利用者の誕生日
等では素敵な詩吟を披露し
てくれます。
- ④ うーん…生まれながら丈夫で
心臓が強いこと。だそうです。
娘さんにはとても感謝し
ているそうです。

- ① 今の錦糸町(昔、柳原)
- ② 9歳で関東大震災。その後、
戦争中に疎開したときは、子
どもたち5人に食事の苦労は
させなかったからよかったと
のこと。戦後は指輪など目立
たないものから物を売って暮
らしをたてたそうです。
- ③ ・70歳くらいから日記をつ
けている。
・パッチワークなど手を動か
すことが好き。
- ④ 100歳になって歩けるのは
80歳から散歩をはじめたか
らとのこと。1日2時間、日
野原先生の本を読んでお手本
にしている。食事に好き嫌い
がないことだそうです。

利用者さん登場 【ご長寿インタビュー編】

①出身地

②今までの人生で印象深いこと

③趣味

④長寿の秘訣

おめでとぅございます
ご長寿



渡辺 みちゑ様 100 歳
ファミリーケア葛西

- ① 北海道札幌・・・と云えば 十勝の国、札幌
 ②・③ 昭和 18 年にご主人と東京に上京。ご主人は大島で専売会社を設立し、一流技士としても勤めあげ、みちゑさんも手伝いながら共に楽あれば苦ありの日々を送られたそうです。

でも、歌が好きで、忙しい合間をみても演歌歌手のコンサート、歌舞伎と趣味に対しても活動的だったそうです。

60 歳を迎えた頃はお孫さんを生きがいに面倒も進んでみられ、お孫さんを連れ旅行にも良く行かれたそうです。

(娘さんからの一言) 一番の自慢はいつも笑いが絶えなかったこと。お母さんは太陽みたいにつも明るく笑っていてくれました。苦勞を苦勞と思わないところが素晴らしいです。

- ④ <良く食べ・寝る>だそうです。

今は 2 日寝て 2 日起きる。起きている時はなんと・・・お赤飯をペロっと 1 膳は食べるそうです。大好きな食べ物は「お・す・し」です！

皆さんとても 100 歳とは思えない元気なお姿ですね。いつまでもお元気でお過ごし下さい！

クイズ

今年の干支は申ですが、申年のサルに掛けて「病や厄が去る(さる)」とも云われとても縁起のよいものとされています。

そんな申年ですが、とある色の肌着を身に着けると幸運が訪れるとされ、2004 年の申年には大変流行しました。さて、申年に身に着けると縁起が良いとされる、肌着の色とは何色でしょう？

- ①紫色 ②赤色 ③金色

【クイズ応募のきまり】

- ◆ ハガキまたは FAX で

《氏名・住所・広報誌の感想を明記》

- ◆ 商品：抽選でクオ・カードを贈呈

- ◆ 締切：2016 年 2 月 28 日（必着）

- ◆ 答え・当選者発表：次号紙面にて



〒120-0023 東京都足立区千住曙町 4-16

「すこやか福祉会 事務局 クイズ係り」

FAX 03-5813-9252

介護スタッフ大募集！

募集資格 > 無資格・未経験者OK・有資格者歓迎

勤務時間 > ご相談ください。

【給 与】 無資格者 980 円

有資格者 1,060 円 ～

【応募先】 電話：03-5813-9251 採用担当

まずは、お電話ください！ご質問も承ります。



その人らしくを大切に

社会福祉法人

すこやか福祉会



更新しました！

すこやか福祉会

検索



本部事務局 〒120-0023 東京都足立区千住曙町 4-16

TEL 03-5813-9251 FAX 03-5813-9252

ちよつと一枚
 ハ潮かえで保育園

